

お年より、子どもの笑顔いきる泉南市に

日本共産党を5人に増やしてください

「くらし守れ」の願い

日本共産党と
くらしよ
実現しましょう

暮らしがたいへん

自民・公明と民主党が競争して「構造改革」をすすめ、「格差」が広がっています。増税や医療費・介護保険料の値上げで負担が増え、さらに泉南市でも財政難を理由に負担を増やしています。市民は二重に負担を押し付けられ、本当に毎日の生活が大変になっています。

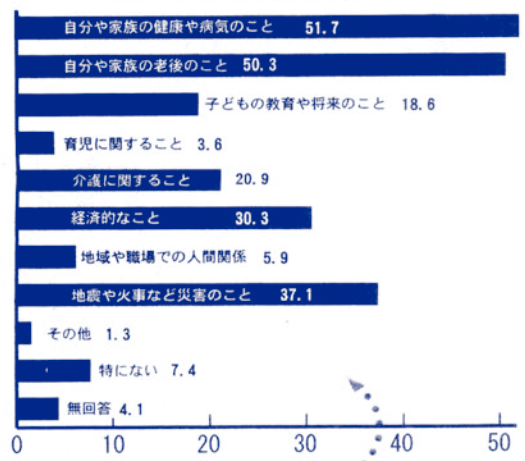
ムダな大型公共事業で
財政を破たん
ツケを市民に押し付ける

現市長は空港関連事業としてムダな大型公共事業をすすめ、泉南市は全国ワースト19位の財政難です。関西空港やりんくうタウンの開発の失敗が明らかになっても、大阪府言いなりに緊急性のない農業公園や信達樽井線の橋梁（イオン道路）建設をすすめ借金を増やしました。その借金の返済が財政を悪化させています。コミュニティバスを1台増やすのに1500万円、乳幼児通院医療費の助成制度を1歳引き上げるのに2000万円などわずかな予算でできるものも先送りされています。

悩みや不安に
日本共産党と力を
合わせましょう

昨年11月に泉南市は「地域福祉に関するアンケート調査報告書」をまとめました。報告書によると市民が日ごろ感じている悩みや不安（3つまで選択）に思っていることは「自分や家族の健康や病気のこと」（51・7％）「自分や家族の老後のこと」（50・3％）「地震や家事など災害のこと」（31・7％）「経済的なこと」（30・3％）「介護に関すること」となっています。

日ごろ感じている悩みや不安は
（泉南市が実施した「泉南市地域福祉に関するアンケート」(H17.11月)より）



「市民の悩みや不安」は冷たい政治の反映

市民が悩みや不安に思っていることは、将来に対する経済的不安ではないでしょうか。国や市の冷たい政治の反映ですが、アンケートの結果に現れています。



みなさんの願いに応える日本共産党

5つの提案

- 1 安心して暮らせる泉南市に
● 介護保険と国民健康保険の負担の軽減
● 乳幼児通院医療費の助成制度を就学前まで
- 2 子どもの笑顔あふれる泉南市に
● 子どもたちの安全対策を強化
● 住民を無視した校区の再編に反対
- 3 住み続けたい泉南市に
● コミュニティバスの増便
● 生活道路の改修と歩道の整備
● 防災放送の設置など災害に強い街づくり
- 4 信達樽井線（イオン道路）を凍結し、新たな借金をつくらない
- 5 同和行政の終結、同和教育を廃止し、新たな差別を生み出さない

泉南民報

2006年4月号 No.353
発行/日本共産党泉南市委員会
連絡先: 82-6472

「苦難あるところに日本共産党あり」貫いて

市民の願いに誠実に取り組む

住民を無視した校区の再編に反対



同和行政の完全終結を

国は02年に同和行政を終結し、市が同和行政を継続する法的根拠はありません。また市は旧同和地域の改善に270億円支出し、地域間格差は市が認めるように解消しました。しかし現市長は同和行政を継続し、「人権」という名で同和教育をすすめています。日本共産党は新たな同和差別を生みだす同和行政・同和教育の廃止を求めます。

白紙撤回した案を ごり押しする市教委

泉南市教育委員会は構井小・鳴滝第一小・鳴滝第二小・雄信小の4つの校区に分ける計画でした。住民を無視した計画の押し付けに反対運動がおこり、この案は昨年、白紙撤回されました。

しかし教育問題審議会は今年になって白紙撤回された案を答申に盛り込む暴挙をおこないました。

部落差別を口実に、 市民を差別者あつかい

教育委員会は校区再編に反対する意見に「部落差別があった」と決め付け、「市民を差別者扱い」しています。さらに、同和研修や教職員による保護者の思想を調査させる訪問活動を行いました。

さらに差別を口実に住民の自由意見の表明を萎縮させることは、新たな差別を作り出します。

積極的提案と 共同の力で

本党 日共産党 市政をリード

保守系議員 とともに

05年度予算を否決

イオン道路の工事費予算を削減

2005年度泉南市の当初予算は、共産党や緑風会など13人の議員の反対で否決されました。

否決は「イオン道路建設強行」が原因

予算否決後の暫定予算も不承認となり、公明党や緑風会などが提案した「イオン道路予算の一部を削減した修正案」が可決しました。「共産党と市政研などはイオン道路予算の全額削減を求める修正案を提案したが否決される」。共産党議員団は「合併の反対」など一致できる要求は、あらゆる議員と共同して取り組みます。

イオン道路の建設費は56億円。そのうち23億円が大型工場の用地買収や補償費です。市の財政を左右する問題にもかかわらず、用地買収などの契約は議会に事後報告です。議会のチェック機能を無視する市長に説明責任や動議的責任が問われます。(予算に反対した13人の議員が合同で発行した議会報告No.1より)

財政危機は失敗の積み重ね
失政=破たんした公共事業
市民の責務

当初予算案も否決

改正予算案を可決

心を通った市政をつくらう！
市長と議会に大きなミソ

泉南市議13人
議会報告No.1

予算案をすべて否決



住民とともに 悪臭解決に取り組む

住民運動が 行政を動かす

新家地域は10年にわたり悪臭の被害に苦しんできました。地元住民は悪臭対策委員会を立ち上げ2万6千筆を超える署名を集めました。日本共産党は市長に「大阪府任せにせず、解決の先頭に立つよう」に求めてきました。また、直接、大阪府や悪臭の原因となっている業者と交渉し、府や業者を呼んだ住民説明会を行ってきました。

議会では共産党の提案した「悪臭解決を求める意見書」は全会一致で決議されました。また府と市から「悪臭の解決がなければ、業者の営業更新は認めない」という方針を引き出し、昨年9月2日に悪臭防止法違反により業者の営業は停止されました。

国民健康保険税(国保)の 大幅値上げを否決

05年泉南市は国保会計の赤字を理由に「低所得者や子育て世代を直撃する」大幅値上げを提案しました。共産党は、大幅値上げは保険料の滞納を増やし、市民の健康が守れない。国保料の値上げでなく、予防対策を充実するように求めました。

議会の流れかえる...共産党の奮闘

国保運営協議会では共産党と無所属議員だけが値上げに反対しました。その後、共産党は値上げの実態を市民に宣伝し、議会では緑風会や公明党なども反対にまわり、大幅値上げ案は否決されました。